

史跡網野銚子山古墳現地説明会資料

平成 27 年 11 月 21 日（土）
京丹後市文化財保護課

1 遺跡の概要について

京丹後市網野町に所在する網野銚子山古墳は日本海側最大の前方後円墳（推定全長 198m）です。当古墳が築かれたと推定される 4 世紀後半は、丹後地方に一定の政治勢力が有ったのではないかとわれ、いわゆる「丹後王国論」を裏付ける遺跡と考えられます。被葬者は不明ですが、大和政権と関係を持ち、日本海側で交易等に携わった地域の有力者であると考えられます。

なお、当古墳は大正 11 年 3 月 8 日に国の指定史跡になっています（平成 23 年 9 月 21 日追加指定）。

2 調査の目的について

（1）これまでの経過

京丹後市合併後、市教育委員会では史跡の適正な保存と活用を図るため、平成 19 年から 3 ヶ年をかけ改めて範囲確認のための調査を実施し、古墳築造時の造作範囲をほぼ確定しました。平成 23 年の追加指定の後、さらに平成 24 年から 3 ヶ年をかけて指定地の公有地化を進め、今後の網野銚子山古墳及びその周辺において、遺跡の保存、さらには広く市民が文化や歴史とふれあう学習や憩いの場としての活用を考えていくため、整備事業を行うことにしました。

（2）今回の調査について

整備事業を行うために問題となったのが、墳丘裾部分が後世に大きく削平を受けたことで、正確な全長や外部を覆っていたと思われる葺石（ふきいし）等の状況、さらに古墳を取り巻く周壕（しゅうごう）の存在がよくわからない点がありました。

今年度、比較的墳丘の残存状態の良い、前方部東角付近を調査することで、古墳の築造過程や整備にあたっての資料を得ることを目的に調査を行いました。

3 調査成果

- （1）墳丘裾部分の葺石の状況および葺石の転落状況なども確認しました。さらに墳丘盛土、地盤整地土と見られる部分を確認しました。
- （2）周壕外部の角を確認、前方部前面の周壕の位置を把握しました。
- （3）墳丘外部において古墳築造後の農地などへの変遷が分かる遺構を確認しました。

今後は、現在実施中の、古墳詳細地形測量のデータと照合を行うことで、古墳のより正確な規模や形状が判明することが期待されます。